

# 患者代表ら大阪入り

## 巡礼姿で決意を表明

チツソの第四十二回定時株主総会を一日後にひかえた二十七日、大阪には全国各地の告発する会会員らがぞくぞくと到着した。二十五日に巡礼姿で水俣を出発した渡辺栄蔵団長ら水俣病患者家族十九人と同行の日吉フミコ会長ら水俣病市民会議の九人らも同日午後一時十五分大阪着の特急「しおじ」号で大阪入りした。

同駅十一番ホームには白く「怨」

と書いた黒いのぼり数十本と全国各地の告発する会員ら約三百人が出迎えた。拍手の中をホームに降りた白のすげがさ、白装束の患者たちは元気そのもの、渡辺団長は「人殺しチツソのことだから、どんなことをするかわからんが、企業の責任をはっきりさせるまでなにがなんでもがんばる」と決意を述べた。このあと駅前広場で集

会を開き、患者家族の田中義光さん(六〇)らが訴訟派二十九世帯の死亡患者十九人の位はいを胸に、鈴を鳴らして自作のご詠歌を歌った。集会后、黒いのぼりを先頭に、チツソ大阪事務所のある大阪ビルまで全員デモ行進、同ビル前で再びご詠歌を歌い、未認定水俣病患者の川本輝男さん、本田啓吉朗本告発する会代表、作家の石牟礼道子さんら代表が五階の事務所を

たすね、下村金弥同営業部長に抗議書を手渡した。このあと渡辺団長ら患者家族はチツソ総会が開かれる厚生年金会館ロビーで記者会見を行なったあと、午後六時から扇町公園で開かれた総決起集會に出席した。集會にはおよそ七百人が集まり、十五都道府県の告発する会の代表が次々に決意を表明、渡辺栄蔵さんが「最後までがんばります」と述べた。なお告発する会会員や患者家族たちは同夜、北区のビルや部落解放同盟センターなどに宿泊、二十八日は午前八時ごろから総会場に集合する予定。(大阪支社)